

## 総評

数学と英語がやや難しめ、理科がやや易しめでしたが、全体としては標準的な難易度の出題でした。中学に入って初めての学力コンクールで、考えていたほどの結果が出せなかった人もいるかもしれません。中1のはじめに学習した内容は、3年間の学習の中ではほんの一部ですが、受験に向けての学習を積み上げるための土台ともいえるべき重要な内容です。小さなミスも見のがさず、しっかり確認しておきましょう。

道コンのようなテストは、高校に合格できるかどうかを予測するためのものではなく、目標に対する現在の自分の位置を確認するためのものです。どんな目標も、これからの学習次第では、近づいたり、遠のいたりします。結果がよくても安心せず、結果が悪くてもあきらめずに、目標をはっきりさせて学習を進めましょう。

## 国語

標準的な出題でした。

㊦は(2)、(3)、(5)、(6)が難しかったようです。漢字は国語の試験だけでなく、日常生活にも必要な知識です。習った漢字は覚えるまでしっかり練習しましょう。㊦の問三は与えられた3つの条件に合うように書くことが必要です。条件は書き方のヒントだともいえます。条件と合わせて、(E)の内容もよく読んで、田中さんが発表原稿に書くことにした内容を過不足なくまとめましょう。㊦は他の大問と比べて、かなり難しかったようです。問一の文節の問題を間違えた人は、文節の区切り方を復習しましょう。問二のように、答えが傍線部の近くにならない場合もあるので注意が必要です。全体を通して、誤字脱字、空欄の前後との接続の不備が目立ちました。よく見直しをして、おいしいミスをなくしましょう。

## 数学

時間のかかる問いも多かったですが、おおむねよくできています。正負の数の計算では、累乗の計算の誤りや、四則計算の順序の誤りが目立ちました。計算は、自分で見て確認できるように整理して書きましょう。㊦は、計算以外の問題も非常に重要です。間違えた問題はしっかり復習しましょう。

㊦は、正負の数について、大小や符号について成り立つきまりに関する応用問題が中心でした。すぐにできなくても構いません。解説を読み、問題の意味をよく考えて、もう一度挑戦してみましょう。

文字の式の分野は、これから学習する「方程式」の基礎となる内容です。㊦問1のような、数量を表す式を書く技術は、特に重要です。速さ、割合、代金など、たくさん問題に取り組み、表し方を身につけましょう。

## 社会

標準的な出題でした。

地理分野では、基本的な語句に関する問題はよくできていましたが、表やグラフなど、資料を活用する問題は得点率が低い傾向にあります。地理分野では、語句や地図上の位置を覚えることのほか、資料を正しく読みとる力が求められるので、問題集などを利用して資料問題に慣れておきましょう。

歴史分野では、小学校で学習した語句などはよくできていましたが、中学校で学習した語句などは得点率が低くなりました。それぞれの時代の社会のようすや政治、文明に関する問題は苦手な人が多いようです。歴史は、教科書の年表などを活用して時代の流れをつかむとともに、社会のようすや文化などをノートにまとめるなどして、正しい知識を定着させましょう。

## 理科

易しい出題でした。

今回は基本的な内容が多く出題されていました。間違えたところの他に、すぐに答えが分からなかったところや、悩んだところも、しっかりと教科書などで復習して、今のうちに確実に身につけておきましょう。

語句を答える問題はよくできていましたが、計算問題や、実験や観察の結果をもとにして思考するものなど、思考力や応用力が必要とされるような問題は得点率が低くなるものが多かったようです。

計算問題は考え方を理解できれば、決して難しくはありません。また、思考問題の対策はくり返し演習をかさねることが重要です。暗記だけでは高い得点をとることはできません。早くから取り組んでおくと、優位に立つことができます。

## 英語

リスニングは比較的よく得点できていましたが、全体としては難しめの出題となりました。小学校でも英語の学習をしてきたことに加え、今回は出題範囲が狭く内容が限られていたため、易しく感じた人もいません。一方で英語のきまりにまだ慣れていない人もおり、大文字・小文字や符号などのミス、英単語のスペルミスも多く見られました。㊦問2では、英文を書くときのきまりがわかっているかが問われましたが、得点できなかった人が多かったようです。アポストロフィーが抜けていた解答が多く見られました。しっかり確認しておきましょう。今後は、英単語を1つ1つ丁寧に書くことを意識して勉強していきましょう。また、間違えた問題があった人は学習内容が少ない今のうちに復習しておきましょう。